

教科 科目 単位数	芸術 音楽 I 2	受信校	北海道常呂高等学校	学科 学年(年次) 履修・実施	普通科 第一学年 必修・一斉
教科書 副教材	「MOUSA 1」(教育芸術社) 「New Recorder Library」(教育出版)				

1 目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付けるようにする。

(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

(高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)より)

2 学習のポイント

(1) オリエンテーション時に示す「授業のルール」を守り、積極的に音楽の活動に取り組んでください。

(2) 楽譜、ワークシート等を多く配布します。配布物を整理するために、ファイルを必ず用意してください。

(3) 音楽 I では、演奏や歌の技術だけ身に付けるのだけではなく、様々な学習を行います。これまでの音楽経験に大きく左右されない活動と評価を行うため、気持ち新たに積極的に取り組んでください。

(4) この科目では、歌唱や器楽の演奏実技だけではなく、音楽について根拠をもって批評する活動についても多く行います。音楽経験等によって得意不得意はあると思いますが、感じたことや考えたことを積極的に文章や発言で表現するよう心がけてください。

3 学習の評価

(1) 評価の観点とその趣旨

次の3つの観点に基づいて内容や時間のまとまりごとに「A・B・C」の3段階で評価を行い、学年末に5段階評定へと総括します。

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

(2) 評価方法と観点との関連 (◎ = 特に関連の深いもの)

	評価方法\観点	①	②	③	主な対象
ア	学習活動の観察	○	○	◎	学習活動の取組
イ	ワークシート	◎	◎	○	ワークシートへの記述
ウ	発表	◎	○	○	演奏や作品の発表
エ	テスト	◎	○		実技試験や小テスト等(定期考査はありません)
総括時の比率		1	1	1	

4 その他

<遠隔授業について>

(1) 授業者は対面授業時を除き、基本的に配信校から授業をします。授業中の質問や疑問等については随時対応しますが、申し出にくい場合などについては、教室にいる受信担当の先生に申し出て構いません。

(2) 授業者が現地にいない分、皆さんの積極的な活動がより一層重要になります。メリハリをもって活動したり、わからないところを互いに教え合ったりすることは特に重要です。ぜひ、一緒に授業を「作っていく」つもりで参加してください。

(3) その他の遠隔授業の特性についてはオリエンテーション時に説明します。

<学習の支援について>

授業について、不安なことや気になること、配慮して欲しいことなどがあれば、可能な範囲で個別対応します。直接相談しにくい場合は、クラスルームやワークシートに書いてもらっても構いません。

5 年間授業計画 (計 70 時間)

月	○題材 ●主な教材	配当 (時)	【学習領域】 ・主な学習内容 □対面授業 ◇テスト等	目標・ねらい	観点ごとの 主な評価の対象 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
4 / 5	○オリエンテーション	1	・音楽 I の学習について	・アンケートへの回答を通し、これまでの音楽の学習を振り返り、高等学校における音楽の学習について見通しをもつ。	
	○歌唱を通して様々な楽曲に親しもう ●校歌 ●翼をください ●若者のすべて ●小さな空	6	【表現：歌唱】 【鑑賞】 ・校歌の習得 ・基本的な発声法の習得 ・様々な楽曲の歌唱 □対面授業① (4月予定)	・旋律やリズムの特徴と表現の関わりについて考えながら、表現を工夫して歌う。	①ワークシートへの記述状況、歌唱の発表 ②表現意図の記入状況 ③取組への状況、振り返りシートの記入状況
	○オリジナルのリズムを創作しよう	4	【表現：創作】 ・言葉とリズムの関係 ・音符の種類や意味 ・オリジナル作品の創作	・基本的な音符の種類や言葉とリズムの関係を理解し、オリジナルのリズム作品を創作する。	①ワークシートへの記述状況、創作した作品 ②創作意図の説明文 ③取組への状況、振り返りシートの記入状況
6 / 7	○リズムアンサンブルを楽しもう ●Plymouth Rock	6	【表現：器楽】 ・ボディーパーカッションの演奏方法 ・リズムの読み方 □対面授業② (6月予定) ◇ボディーパーカッション	・リズムの読譜力を身に付け、テクスチュア (パートごとの関わり)、と表現の関わりについて考えながら、強弱等の表現を工夫して演奏する。	①ワークシートへの記述状況、演奏の発表 ②表現意図の記入状況 ③取組への状況、振り返りシートの記入状況
	○音楽の特徴を捉え、オーケストラの名曲を鑑賞しよう ●ボレロ	3	【鑑賞】 ・各楽器の音色、オーケストラの特徴の理解 ・批評文の作成	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解し、音色や旋律、テクスチュアの特徴と表現の関わりについて考えながら、よさや美しさを味わって聴く。	以下、省略しますが、次のような考え方を基本とします。 ①の知識に関してはワークシートへの記述状況、技能については演奏や作品が対象となります。 ②は自分自身の考えを整理し示す課程や結果が対象となります。 ③は観察や振り返りシートが対象となります。
8 / 9	○ピアノの演奏表現を楽しもう ●子犬のワルツ	4	【鑑賞】 ・奏者による演奏表現の違い	・楽曲の特徴を理解し、演奏の違いによる効果の違いを捉えながら、よさや美しさを味わって聴く。	
	○リコーダーの特徴を生かして演奏しよう ●アルトリコーダー ●New Recorder Library	8	【表現：器楽】 ・アルトリコーダーの基礎的な奏法の習得 ・演奏表現の工夫	・リコーダーの基礎的な奏法を身に付け、アーティキュレーションの違いによる表現の違いを捉えながら、表現を工夫して演奏する。	

令和7年度 遠隔授業配信シラバス

10 / 11 / 12	○箏の響きを生かして演奏しよう ●文化箏 ●「さくら」変奏曲	10	【表現：器楽】 ・箏の基礎的な奏法の習得 ・演奏表現の工夫 <u>□対面授業③（10月）</u>	・箏の基礎的な奏法を身に付け、音色や旋律、構成の特徴と表現の関わりについて考え、表現を工夫して演奏する。
	○変奏の面白さを味わおう ●楽譜作成ソフト等	6	【表現：創作】 【鑑賞】 ・「変奏」の手法や表現の工夫 ・「変奏曲」の特徴の理解	・変奏曲の特徴を理解し、リズムや旋律の特徴と表現の関わりを考えながら、創作や鑑賞をする。
	○旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう ●Caro mio ben	4	【表現：歌唱】 ・イタリア歌曲の歌唱 ・歌唱表現の工夫 <u>□対面授業④（12月）</u> <u>◇演奏発表（歌唱）</u>	・イタリア語の基礎的な発音を身に付け、歌詞と旋律特徴と表現の関わりを考えたりしながら、表現を工夫して歌う。
1 / 2 / 3	○音楽と物語 ●歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」 ●ミュージカル「ウエストサイドストーリー」	6	【鑑賞】 ・舞台作品（歌劇・ミュージカル）の鑑賞 ・批評文の作成	・舞台作品を鑑賞し、他の芸術との関わりを理解するとともに、音楽の特徴と表現の関わりを考えながら、よさや美しさを味わって聴く。
	○「〇〇駅の発車メロディーを作ろう」 ●様々な生活の中の音や音楽、発車メロディー等	6	【表現：創作】 ・既存の旋律を生かした発車メロディーの創作	・生活の中にある音楽に耳を澄ませ、それぞれの意味や役割について考えるとともに、イメージをもって旋律を編曲し、発車メロディーを創作する。
	○音楽をとおして世界を見よう～音楽と私 ●日本の伝統音楽 ●諸民族の音楽	6	【鑑賞】 ・様々な伝統音楽、民族音楽の特徴の理解	・伝統音楽や民族音楽を鑑賞し、それぞれの特徴を理解するとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考えながら、よさや美しさを味わって聴く。